

### III. 環境配慮指針〈事業所編〉

#### 1. 環境配慮行動の分析

過去に実施した事業所アンケート調査結果を参考にして、それぞれの環境配慮行動について「どの程度実践されているか」、「実践状況に事業所間の差があるか」という2つの点で分析しました。

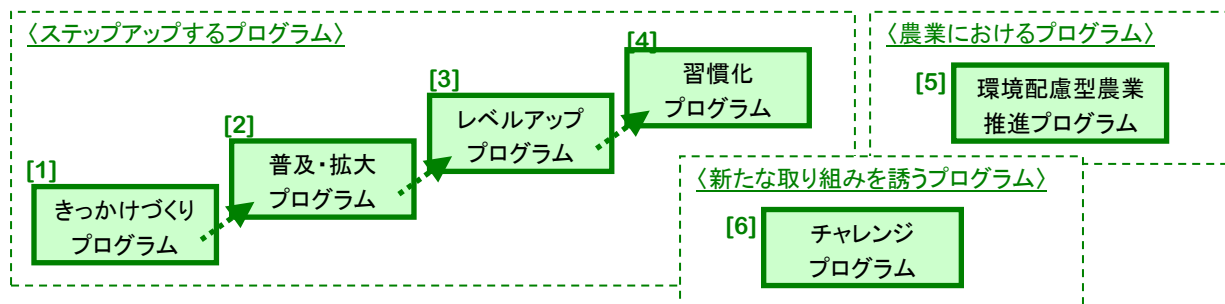
#### 2. 本指針の目標

本指針が目標とする状態は、より多くの事業所が、より多くの環境配慮行動を実践することです。

#### 3. 6つのプログラム

本指針では、様々な環境配慮行動について分析した上で、実践の度合いや事業者間の差が類似する環境配慮行動を「プログラム」としてまとめて、事業所に対する普及・拡大を働きかけていくこととします。具体的には、次の6つのプログラムに分類しています。

##### ▼ 6つのプログラム



#### [1] きっかけづくりプログラム

ごく限られた事業所にしか実践が見られず事業所間の差が大きく、しかも実践の度合いが低い取組みです。ここでは「知ってもらうこと」を重視し、その上で、参加や実践しやすい「きっかけ」を提供します。

##### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- きっかけとなる場やしくみの整備など

##### 〈事業所への期待〉

- テレビなどのマスコミ、市の広報による環境特集の視聴
- できるところからの実践など

## [2] 普及・拡大プログラム

実践の度合いは低いものの、実践している事業所が比較的多く見られ、広がり始めてきている環境配慮行動です。ここでは、「より多くの事業所に実践してもらうこと」を重視し、環境配慮行動が面的に広がるよう、対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供
- 広がり期待できる業種や業界、地域などに対する実践の働きかけなど

### 〈事業所への期待〉

- 事業所内での実践の徹底
- 業種や業界、地域などで実践していない者に対する「声かけ」など

## [3] レベルアッププログラム

多くの事業所が実践し広く普及しているものの、一生懸命に実践する事業所とそうでない事業所との差が大きい取組みです。すなわち、ここでは、「実践するレベルを引き上げること」を重視し、高いレベルで取り組む事業所を目標に、底上げのための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供。特にレベルの高い事例の積極的な紹介
- 実践者同士が情報や意見を共有できる工夫
- すでに実践している取組みに関する改善ポイントの紹介など

### 〈事業所への期待〉

- より実践しやすい工夫や、より大きな効果が得られた工夫についての情報発信
- すでに実践している取組みの改善

## [4] 習慣化プログラム

すでに多くの事業所に実践が見られ広く普及しており、しかも実践レベルが高く、かつ事業所間の差も小さな環境配慮行動です。ここでは、環境配慮行動を「維持」し、さらに「習慣化」することを重視し、新たな環境配慮型ビジネススタイルとして定着させるための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 温室効果ガス排出状況など取組みの成果が実感できる情報の積極的な提供
- 業種や業界、地域などを巻き込んだ、普段の事業活動への定着のための工夫など

### 〈事業所への期待〉

- ブームやはやりなど一過性の取組みに終わらせずに定着させるための工夫
- 取組みの成果を考えた上での環境配慮行動の実践

## [5] 環境配慮型農業推進プログラム

農業は自然環境を場とする生産活動です。新たな農業のあり方として環境配慮型農業を模索し、大和市に定着させることをねらいとします。持続的な農業によって自然環境を保全することとあわせ、新たな都市緑地などの創造を図ります。

### 〈市の役割〉

- 関連部局と連携し、環境配慮型農業の姿を検討
- 環境配慮型農業の考え方を共有し、農家と協働して展開できるよう働きかけなど

### 〈事業所への期待〉

- 農業において可能な環境配慮の実践とその内容の発信
- 市民が農業と触れ合える場の提供など

## [6] チャレンジプログラム

今後の広がりが期待される新たな環境配慮行動や、チャレンジすべき環境配慮行動です。仕組みがまだ十分に整備されていない、技術が実用化レベルに至っていないなど、成果が見えにくかったりしているものも多いですが、最新情報の入手に努めるとともに、できる部分では実践してみることを働きかけます。

### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供。特に、新たな取組みを知ってもらうためのきっかけとなる機会や場の提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- 実践者の意見や感想といった「生の声」の提供など

### 〈事業所への期待〉

- テレビなどマスコミ、市の広報による関連情報への主体的な接触など

## 4. 環境配慮行動とプログラムの関係

環境配慮行動は、次のようにプログラムに分類しています。

	きっかけづくりプログラム	普及・拡大プログラム	レベルアッププログラム	習慣化プログラム	環境配慮型農業推進プログラム	チャレンジプログラム
毎日の事業活動での配慮	〈省エネルギーの工夫〉					
	■ 省エネ型オフィス機器を導入する	●				
	■ 夏は28℃、冬は20℃に			●		
	■ 冷暖房は必要なときだけつける				●	
	■ 照明をつける時間を短くする				●	
	〈3Rの工夫〉					
	■ ペーパーレス化を進める		●			
	■ 封筒等の再使用を進める		●			
	■ エコマーク付きや省エネ機器を選択する		●			
	■ 紙の使用量を減らす			●		
	■ 使い捨て製品の購入・使用を抑制する			●		
	■ リサイクルを徹底する			●		
	■ 資源の分別を徹底する				●	
	■ 事務機器などを修理・修繕して使う				●	
	■ プラスチック製容器包装材を減らす					●
	〈自動車利用の工夫〉					
■ 次世代自動車を購入する	●					
■ マイカー通勤の自粛を呼びかける		●				
■ 大型輸送・配送車は生活道路を避ける		●				
■ エコドライブを心がける			●			
■ 迷惑駐車をしない				●		
〈低炭素社会に向けた取り組み〉						
■ 環境負荷を考えて交通手段を選ぶ					●	
■ カーボン・オフセット商品を購入する					●	
建築・管理での配慮	〈省エネルギーの工夫〉					
	■ エネルギー損失をチェックする	●				
	■ 排熱回収や電力負荷の平準化を行う	●				
	■ 燃料電池やコージェネレーションを導入する	●				
	■ エネルギー効率を向上させる				●	
	〈周辺環境への配慮〉					
	■ 公害の防止に努める		●			
■ 事業所周辺の清掃に努める			●			
■ 屋上緑化や壁面緑化を進める			●			
〈再生可能エネルギー利用の工夫〉						
■ 太陽光発電機器を導入する	●					
■ 太陽熱利用機器を導入する	●					
農業における配慮	〈大気汚染防止の工夫〉					
	■ 野焼きをしない				●	
	〈化学物質使用への配慮〉					
	■ 農薬はなるべく使わない				●	
	■ 有機農業を進める				●	
	〈生物への配慮〉					
■ 生物のすみかを確保する				●		
〈持続的農業への配慮〉						
■ 農業を続ける					●	

## 省エネルギーの工夫

### (1) 省エネ機器

<地球環境・エネルギー>

#### 省エネ型オフィス機器を導入する

## 5. 毎日の事業活動での配慮

### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」と「自動車利用の工夫」の2つを取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの事業者に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

#### <取組みの内容>

- ▼ コンピューター、ディスプレイ、プリンタ等周辺機器、コピー機、ファクシミリ、スキャナ、複合機など、省エネルギータイプの機器を選定・導入します。
- ▼ たとえば、右の国際エネルギースタープログラム(※)のロゴは、製品の稼働、スリープ、オフ時などの消費電力基準を満たす製品に付けられています。



▲出典 国際エネルギースタープログラムホームページ



▲ ノートパソコンに付けられているエネルギースターのロゴ

#### <取組みによる変化>

- ▼ 電気消費量を削減でき、CO<sub>2</sub>などの排出量の削減につながるほか、電気料金も節約できます。

## 自動車利用の工夫

### (2) 次世代自動車

＜地球環境・エネルギー・空気＞

#### 次世代自動車を購入する

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 燃費がよく、また排出ガスがクリーンな次世代自動車を購入します。

※環境配慮指針(市民編 P28～29)を参照。

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 年々強化される排出ガス規制に適合した自動車に切り替えることで、大気汚染物質の排出量を低減できます。
- ▼ 燃費のよい自動車に切り替えることで、燃料消費量を減らし、燃料代を節減できます。



## トピックス ■ 燃料電池自動車の普及促進

### ○国による水素利用の促進の動き

国は、平成 26 年に閣議決定した第 4 次エネルギー基本計画において、「将来の二次エネルギーでは、電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待される」として、水素を本格的に利活用するための取組みを促進する考えを示しました。

▲参考 経済産業省「第 4 次エネルギー基本計画」

### ○神奈川県による目標や取組み

神奈川県では、国のこうした動きを踏まえ、燃料電池自動車や水素ステーションの普及について目標を掲げるとともに、補助制度を設けて普及・促進を図っています。



※神奈川県が公用車として導入した燃料電池自動車

▲参考 神奈川県水素社会ロードマップ

## 3R の工夫

### (1) リデュース（排出抑制）

<資源>

#### ペーパーレス化を進める

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所内連絡でのメールの活用などによって、ペーパーレス化を進めます。
- ▼ すぐに廃棄されるものは共有するなど会議資料の簡素化を進めたり、パソコンやプロジェクターを利用したりするなど、印刷物によらない会議を工夫します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 用紙使用量が削減でき、それに伴い用紙代が削減できます。
- ▼ プロジェクターを活用することで、参加者の視線が上に向き、効率的な会議進行ができます。



## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

毎日の事業活動のできる環境配慮行動として、「3R の工夫」、「自動車利用の工夫」の2つを取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

## 3R の工夫

### (2) リユース（再使用）

<資源>

#### 封筒等の再使用を進める

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所内便や文書の仮保管用などに使用済み封筒を再使用します。
- ▼ ファイル、フォルダー等も再利用します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 新たな封筒やファイル、フォルダー等の消費量を減らすことができ、環境にやさしい取組みとなります。



## 3R の工夫

### (3) グリーン調達

<地球環境・エネルギー・資源>

#### エコマーク付きや省エネ機器を選択する

##### <取組みの内容>

- ▼ 事務所で使う日用品や事務用品は、エコマーク付きや省エネタイプのを率先購入するグリーン調達・グリーン購入を推進します。



▲ エコマーク付きレバーファイル

##### <取組みによる変化>

- ▼ エコマークや省エネマークを目安にすることで、より容易に環境配慮製品を選択・購入することができます。
- ▼ 省エネ性能が優れている製品を選択することで、従業員の環境意識を高めることにもつながります。



## 自動車利用の工夫

### (4) マイカー利用

<地球環境・エネルギー・空気>

#### マイカー通勤の自粛を呼びかける

##### <取組みの内容>

- ▼ マイカー通勤者に対し、公共交通機関の利用やマイカーの乗り合い、近隣の場合は徒歩や自転車利用を推奨し、マイカー自粛を呼びかけます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ マイカー通勤に伴う排ガスの排出を抑えることができます。  
※環境配慮指針(市民編 P23)を参照。
- ▼ 公共交通機関利用などが定着すれば、従業員用駐車場を他用途に活用できます。



## 自動車利用の工夫

### (5) 配送車

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 大型輸送・配送車は生活道路を避ける

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所に入入りする大型の輸送車、配送車については、生活道路を避けた運行を働きかけます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 大型車が狭い生活道路を走行することにより、事故や渋滞をまねくおそれがありますが、これを回避できます。
- ▼ 生活環境の悪化を防ぐことにもつながります。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー・空気>

夏は 28℃、冬は 20℃に

#### <取組みの内容>

- ▼ いつもの設定温度より 1℃、自然の温度に近づけます。(冷房は 1℃ 高く、暖房は 1℃ 低く設定します。)
- ▼ クールビズやウォームビズと組み合わせたり、エアコンのドライモードや加湿器を上手に使ったり、ひざ掛けを活用したりするなどの工夫をします。

The logo for WARM BIZ is displayed in a bold, dark blue font on an orange rectangular background.

▲出典 チーム・マイナス 6% ホームページ

#### <取組みによる変化>

- ▼ 電気消費量を削減でき、CO<sub>2</sub>などの排出量の削減につながるほか、電気料金も節約できます。

## [3] レベルアッププログラム

### ～トップランナーを追いかけろ！～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」、「3R の工夫」、「自動車利用の工夫」の 3 つを取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

## 3R の工夫

### (2) リデュース（排出抑制）

#### <資源>

#### 紙の使用量を減らす

##### <取組みの内容>

- ▼ 両面印刷、両面コピーや、1枚に複数ページ分を印刷する割付印刷などを活用し、印刷枚数、コピー枚数削減の工夫を行い、これを事業所内に徹底します。
- ▼ ミスコピーや unnecessary コピーを避けるため、コピーカウンターを活用し、部門等で管理を行います。
- ▼ 書類の複数化や私蔵化を避けるため、共有化や一元管理を進めます。
- ▼ 機密文書として取り扱う範囲を明確にしたり、機密文書処理のしくみを作ったりするなど、情報管理を徹底します。

##### <取組みによる変化>

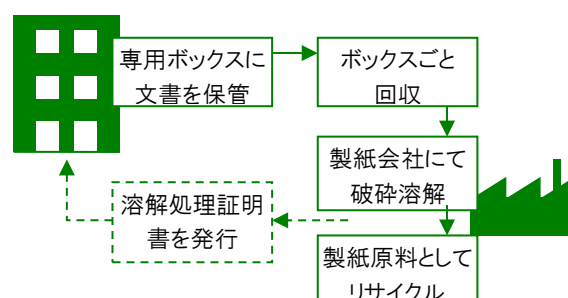
- ▼ 用紙類の削減とそれに伴う用紙代を節減できます。
- ▼ 割付印刷を活用することで、書類のページ枚数を減らすことができ、持ち運びが容易になります。
- ▼ コピーカウンターを活用し、前月比、前年同月比などコピー枚数を管理したり、部門間比較をしたりすることで、ムダを省くことができます。
- ▼ 書類一元管理システムを整えることで、次のような点から業務の効率アップが期待できます。
  - ・ 必要な書類を素早く手にすることができます。
  - ・ 共有書類を誰でも閲覧等することができます。
- ▼ 重要文書や機密文書などの徹底した管理によって、紛失・漏洩などのリスクを低減するほか、不要な書類を減らせます。
- ▼ シュレッダー作業に要する手間と時間（人件費）が省けます。

## トピックス ■ 機密文書のリサイクル

### ○機密文書は溶解して紙資源に

現在、機密文書リサイクルサービスを提供している事業者が数多くあります。

一般的なリサイクルシステムでの処理の流れは、機密文書は専用ボックスで保管、回収され、開封されることなくそのまま破碎、溶解処理され、製紙原料パルプとなります（下図）。



※機密文書リサイクルシステムの主な流れ

### ○証明書発行で安心

サービスを提供する各事業者は、「溶解処理証明書」などを発行します。これにより、確実に機密文書が判別不能な状態にまで処理され、リサイクルされたことを保証しています。

## 3R の工夫

### (3) リユース（再使用）

<資源>

使い捨て製品の購入・使用を抑制する

#### <取組みの内容>

- ▼ 使い捨て製品の購入や使用の抑制を図ります。また、従業員に対しても使用の自粛を呼びかけます。
- ▼ 会議などの飲料や弁当などは、リターナブル容器（繰り返し使える容器）入りを購入・注文します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 廃棄物を削減することができます。特に、弁当容器などのプラスチックごみは処分費の高い産業廃棄物となるため、リターナブル容器とすることで大きく節減できます。



※ リフィル(中身を入れ替え)できる文房具  
(テープ交換できる修正テープとボールペン用の交換インク)

## 3R の工夫

### (4) リサイクル

<資源>

リサイクルを徹底する

#### <取組みの内容>

- ▼ 従業員にわかりやすい分別ボックスを工夫し、利用しやすい場所に設置します。
- ▼ 廃棄物処理等の委託先として、リサイクルに積極的に取り組む業者、リサイクル情報を適宜提供してくれる業者を率先して選定します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員がリサイクルに取り組みやすくなり、結果として事業所のリサイクル率向上に寄与できます。
- ▼ 積極的な業者の場合、廃棄物に関連する法改正や規制強化などの情報をいち早く提供してもらえるため、事業所としてこれに対応しやすくなります。



## 自動車利用の工夫

### (5) エコドライブ

<地球環境・エネルギー・空気>

#### エコドライブを心がける

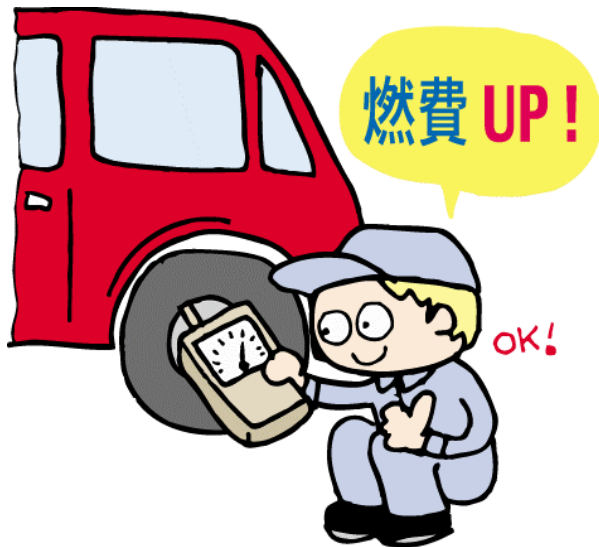
##### <取組みの内容>

- ▼ 事業活動で利用する自動車について、法定の積載量や速度を守るよう、徹底します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 安全運転のほか、燃費の改善にもつながります。

※環境配慮指針(市民編 P24)を参照。



## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー>

冷暖房は必要なときだけつける

#### <取組みの内容>

- ▼ 快適な室温になったらこまめにスイッチをオフするか、弱運転に切り替えるなど、工夫します。



#### <取組みによる変化>

- ▼ こまめなスイッチオフなどにより、消費電力を減らすことができます。

※環境配慮指針(市民編P19)を参照。

## [4] 習慣化プログラム

～もう一歩！ビジネス・スタンダードへ～

毎日の事業活動でできる環境配慮の取り組みとして、「省エネルギーの工夫」、「3Rの工夫」、「自動車利用の工夫」の3つを取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ事業所間に大きな差が見られない環境配慮行動について、それを事業活動の中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

## 省エネルギーの工夫

### (2) 照明

<地球環境・エネルギー>

#### 照明をつける時間を短くする

##### <取組みの内容>

- ▼ 誰もいない部屋や廊下の照明をこまめにオフします。
- ▼ 深夜残業時の点灯や少ない人員のための全室点灯を避けるようにします。



##### <取組みによる変化>

- ▼ 蛍光灯 10 灯を1日4時間点灯短縮すると、年間約 3,024 円の削減になります。

▲出典 東京商工会議所ホームページ「中小企業向け 省エネ・温暖化対策ヒント集」

※環境配慮指針(市民編 P20)を参照。

## 3R の工夫

### (3) リサイクル (再資源化)

<資源>

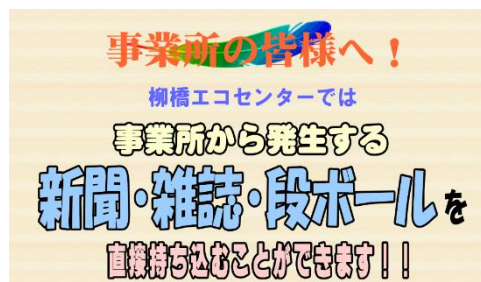
#### 資源の分別を徹底する

##### <取組みの内容>

- ▼ 従業員が分別した資源をまとめて保管できるスペースを確保します。
- ▼ 分別のルールやしくみを、全従業員間で共有・徹底します。特に、住んでいる地域とルールやしくみが異なる場合があるため、従業員一人ひとりへの周知を図ります。
- ▼ 事業所のルールやしくみをよりわかりやすいものにできるよう、臨機応変に対応します。そのために、従業員の意見やアイデアを生かせる工夫をします。
- ▼ 分別の必要性について十分に説明するだけでなく、得られた成果(たとえばリサイクル率アップなど)についても従業員に随時情報提供し、共有できるようにします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の分別努力をムダにすることなく、リサイクル率を高めることができます。
- ▼ 廃棄物が管理しやすくなります。
- ▼ 分別のしくみがわかりやすいほど共有しやすく、かつ分別を徹底しやすくなります。
- ▼ 従業員の環境意識を向上させることができます。



▲出典 大和市リサイクル事業協同組合ホームページ

### 3R の工夫

#### (4) 長期使用

<資源>

##### 事務機器などを修理・修繕して使う

###### <取組みの内容>

- ▼ 事務機器などが故障した場合は修理・修繕し、長期使用を心がけます。
- ▼ リースやレンタルを上手に活用し、修理・修繕やモデルチェンジに対応してもらいます。

###### <取組みによる変化>

- ▼ 製品価格よりも修理代が安価であれば、経費増を防ぐことができます。
- ▼ まだ使えるものを廃棄することによる資源の浪費を防ぐことができます。
- ▼ リースやレンタルでは、使用期間(契約期間)が終了した商品は回収されるため、自らでごみとして処分する必要がなくなります。

### 自動車利用の工夫

#### (5) 交通ルール

<地球環境・エネルギー・空気>

##### 迷惑駐車をしない

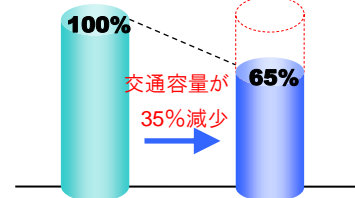
###### <取組みの内容>

- ▼ 法令違反であり、また交通の流れを乱し渋滞を招く路上駐車をしません。
- ▼ また、迷惑駐車は、歩行者などを視認する妨げとなり、交通事故の原因となります。

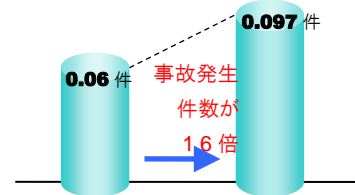
###### <取組みによる変化>

- ▼ 渋滞等に伴う環境面の悪化を防ぐことができます。
- ▼ 駐車禁止エリアでなくても、交通や人の往来のある場所の場合、駐車が原因の事故(他者によるものを含む)を未然に防ぐことができます。

〈違法駐車がない場合〉〈違法駐車がある場合〉



〈路駐密度 5 台/km 未満〉〈路駐密度 5 台/km 以上〉



〈上段：東京都の違法駐車による交通障害〉  
違法駐車があると、交通容量が 35%減少

〈下段：路上駐車による事故発生状況〉  
路駐密度が 5 台/km 以上の場合、同 5 台/km 未満に比べ事故発生件数が 1.6 倍に増加

▲出典 国土交通省ホームページ

※環境配慮指針(市民編 P27)を参照。



## 3R の工夫

### (1) リデュース（排出抑制）

<資源>

#### プラスチック製容器包装材を減らす

##### <取組みの内容>

- ▼ 販売されている商品の多くは、あらかじめプラスチック製の容器包装材に入れられて売られています。購入した商品を持ち帰るのにも、プラスチック製のレジ袋が使われます。
- ▼ プラスチック製容器包装材の原料は石油です。省エネルギーという観点からも、またこの焼却処理によって発生する二酸化炭素の削減のためにも、プラスチック製容器包装に依存する暮らし方を見直す時期にきています。
- ▼ 事業者側の取組みとして、工場であれば商品に付随するプラスチック製容器包装材の削減にチャレンジします。店舗であれば簡易包装を消費者に訴えかけ、販売に伴う包装材の削減にチャレンジします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 容器包装材を減らすことで、家庭に持ち込むプラスチック廃棄物を減らせるだけでなく、提供する事業者側も、容器包装材コストを削減することができます。



## [5] チャレンジプログラム

### ～目指せ、「環境マスター」!～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「3Rの工夫」と「低炭素社会に向けた取組み」の2つを取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動となります。

## 低炭素社会に向けた取組み

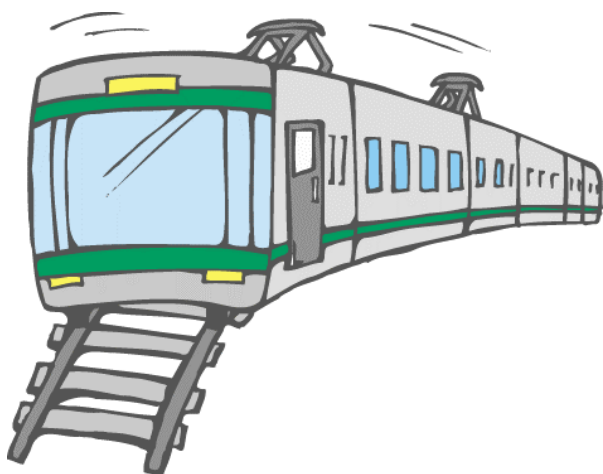
### (2) 交通手段選択

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 環境負荷を考えて交通手段を選ぶ

##### <取組みの内容>

- ▼ 出張距離や到着時間を考慮しながら、旅費だけでなく、CO<sub>2</sub> 排出量にも配慮して、交通手段を選択します。
- ▼ 交通経路や料金だけでなくCO<sub>2</sub> 排出量なども比較・表示する検索システムもあります。



##### <取組みによる変化>

- ▼ CO<sub>2</sub> 排出量の削減に貢献できます。

## 低炭素社会に向けた取組み

### (3) 排出量取引

<地球環境・エネルギー>

#### カーボン・オフセット商品を購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所では削減できないCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を、他の場所での削減量や吸収量で埋め合わせる(相殺する)カーボン・オフセット商品・サービスが販売されています。
- ▼ 事業所におけるCO<sub>2</sub> 排出量の削減目標を定め、その達成に向けたプログラムを策定、実践します。まずは、排出源での削減努力が最優先となりますが、それでは目標達成が困難な場合、カーボン・オフセット商品の購入や排出量取引への参加を次善策として検討します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 日頃の取組みによる温室効果ガスの排出量削減に加えて、さらに多くの削減をすることができます。
- ▼ カーボン・オフセット商品の売買や排出量取引市場の活性化に寄与できます。  
※環境配慮指針(市民編 P39)を参照。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エネルギー損失

<地球環境・エネルギー>

#### エネルギー損失をチェックする

##### <取組みの内容>

- ▼ ブラインドの操作や熱反射フィルムによる日射の調整、断熱材の施工などによって、建物や設備からのエネルギー損失を防止します。
- ▼ ビル全体で、早朝から深夜まで電気をつけ、空調を稼働させている場合は、それによる損失をチェックし、ムダを省く工夫をします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 窓ガラスに遮光フィルムを貼り、ブラインドを併用して日射負荷を低減することなどに取り組むことで、電力の削減や経費節減につながります。

## 6. 建築・管理での配慮

### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

建築・管理面における環境配慮の取り組みとして、「省エネルギーの工夫」と「再生可能エネルギー利用の工夫」の2つを取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの事業者に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

## 省エネルギーの工夫

### (2) 効率化

＜地球環境・エネルギー＞

#### 排熱回収や電力負荷の平準化を行う

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 熱交換器の取り付けや蓄熱式空調システムの導入など設備の改修により、省エネルギーの取組みを進めます。
- ▼ 照明器具については、蛍光灯よりも、さらに長寿命で、省電力な LED ランプに交換することで、さらなる省エネが期待できます。

##### ＜取組みによる変化＞

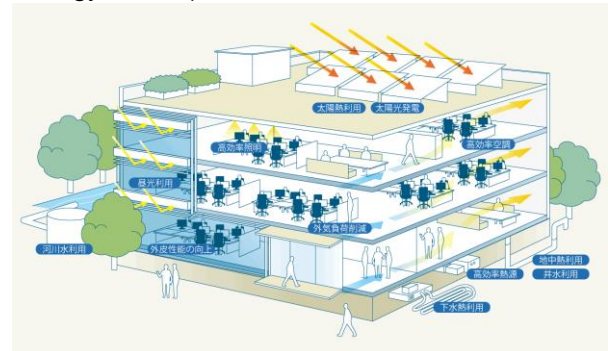
- ▼ さまざまな設備の効率化により、電力消費量や経費を削減できます。

※環境配慮指針(市民編 P11)を参照。

## トピックス ■ ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)

### ○ZEBとは

Net Zero Energy Building の略で、断熱や採光性などを工夫してエネルギー消費量を減らす一方で、太陽光発電等でエネルギーを作り、見かけ上のエネルギー使用量をゼロにしたビルのことです。また、同様の考え方を一般住宅に当てはめたものを ZEH(Net Zero Energy House)と呼んでいます。



▲出典 経済産業省資源エネルギー庁ホームページ

### ○国による推進の取組み

国は、平成 26 年に閣議決定した第 4 次エネルギー基本計画と 30 年に閣議決定した第 5 次エネルギー基本計画において、「2020 年までに新築公共建築物等で、2030 年までに新築建築物の平均で ZEB を実現することを目指す」という政策目標を盛り込みました。

この実現に向けて、国では導入促進に向けての支援を続けていく考えを示しています。

▲参考 経済産業省「第 4 次・第 5 次エネルギー基本計画」

## 省エネルギーの工夫

### (3) コージェネレーション

<地球環境・エネルギー>

燃料電池やコージェネレーションを導入する

#### <取組みの内容>

- ▼ 燃料電池は、水素を燃料として大気中の酸素と反応させることで、直接電気を発生させる装置です。
- ▼ コージェネレーションは、石油や都市ガスなどのエネルギーを使い、電気とあわせて熱も取り出すしくみです。電力のみを得る発電機と交換することでエネルギー効率を高めることができます。
- ▼ こうした機器を、事業所に導入します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ たとえば、コージェネレーションシステムの導入により、次のような効果が期待できます。
  - ・ばいじんや硫黄酸化物(SOx)が発生しません。
  - ・CO<sub>2</sub>や窒素酸化物(NOx)の排出量を削減できます。

### トピックス■コージェネレーションシステムの種類とは

#### ○コージェネレーションシステムの種類

- ①エンジンで発電機を回転させる「ガスエンジンシステム」
- ②燃焼ガスでタービンを回転させ、その動力で発電機を回転させる「ガスタービンシステム」
- ③水素と酸素を反応させて発電する「燃料電池システム」

※環境配慮指針(市民編 P52)を参照。

## 再生可能エネルギー利用の工夫

### (4) 太陽光発電

<地球環境・エネルギー>

太陽光発電機器を導入する

#### <取組みの内容>

- ▼ 屋根や壁面に太陽光発電パネルを設置し、工場や事業所での発電を行います。



※大和市役所に設置している太陽光発電パネル

#### <取組みによる変化>

- ▼ 太陽光を直接電気に変えるため、CO<sub>2</sub>やNOx等のガスが発生しません。
- ▼ 買電量が減少することで電気料金の節約になるほか、温室効果ガスの削減にもつながります。

## 再生可能エネルギー利用の工夫

### (5) 太陽熱利用

<地球環境・エネルギー>

#### 太陽熱利用機器を導入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 太陽熱利用機器には、太陽熱を利用して直接温水を作る太陽熱温水機と、集熱ポンプの働きで温水を作るソーラーシステムがあり、いずれかを設置します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 集熱することにより給湯できるため、CO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>等が発生しません。
- ▼ 電気料金の節約になるほか、温室効果ガスの削減にもつながります。

## 周辺環境への配慮

### (1) 汚染物質・騒音対策

<空気・水・音・美化・緑・生物・景観・産業・  
都市空間・水循環・環境保全活動>

## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

建築・管理面における環境配慮の取組みとして、「周辺への配慮」を取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

### 公害の防止に努める

#### <取組みの内容>

- ▼ 大気汚染や水質汚濁を発生させないよう、設備の適切な維持管理に努めるほか、低公害型の機器の導入などを進めます。
- ▼ 騒音・振動や悪臭を発生させないよう、低公害型の機器の導入や工場内での設備の適正配置などに努めます。
- ▼ 化学物質の適正な管理に努めます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の健康面に配慮することになるほか、快適な地域環境にもつながります。

## 周辺環境への配慮

### (1) 美化

<音・美化・環境保全活動>

#### 事業所周辺の清掃に努める

##### <実施する内容>

- ▼ 工場・事業所等の周辺の清掃に努めます。
- ▼ 「清掃の日」へ参加します。
- ▼ 地域美化に関して事業所内で取組みを検討します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の環境意識を高めるとともに、周辺に住む方と地域美化についての意識を共有することができます。



## [3] レベルアッププログラム

### ～トップランナーを追いかける！～

建築・管理面における環境配慮の取組みとして、「周辺環境への配慮」を取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っています。



## 周辺環境への配慮

### (2) 屋上・壁面緑化

〈緑・生物・景観・産業・都市空間〉

#### 屋上緑化や壁面緑化を進める

##### 〈取組みの内容〉

- ▼ 建物の屋上や壁面のほか、事業所敷地内にある空地の緑化を進めます。

##### 〈取組みによる変化〉

- ▼ 日射を遮ることができるほか、CO<sub>2</sub>の吸収などにも貢献できます。



※大和市文化創造拠点シリウスの敷地内緑化

※環境配慮指針(市民編 P47)を参照。

## 省エネルギーの工夫

### [4] 習慣化プログラム

#### ～もう一歩！ビジネス・スタンダードへ～

建築・管理面における環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」を取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ事業所間に大きな差が見られない環境配慮行動について、それを事業活動の中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

#### (1) 効率化

##### <地球環境・エネルギー>

#### エネルギー効率を向上させる

##### <取組みの内容>

- ▼ 機器や設備について、運用方法の適正化・効率化や、清掃の徹底に努めるほか、高効率機器への更新などを行います。
- ▼ 天井にある蛍光灯を間引く一方で、各デスクには作業用として新たに低消費電力のLED型スタンドを設置します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 蛍光灯を33台から17台に半減させ、LEDスタンドを36台新設した場合（一日の執務時間13時間、在席率50%とした場合）、照明電力消費量を約41%削減できます。

▲参考 省エネルギーセンター「ビルの省エネルギーガイドブック2018」(P30)

## 大気汚染防止の工夫

### (1) 野焼き

<安全>

#### 野焼きをしない

##### <取組みの内容>

- ▼ 塩化ビニルなどの廃プラスチックを含む農業廃棄物を安易に焼却することは、ダイオキシン類をはじめとする大気汚染物質の発生原因となります。また周辺に悪臭やばいじんなどを撒き散らすことにもなります。
- ▼ 廃棄物の野焼きは、廃棄物処理法によって禁止されています。ただし、農業、林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却(たとえば、農業者が行う焼畑やあぜ草の野焼き)など、いくつかの特例が認められています。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 野焼きは燃焼管理・温度管理ができないため、ばいじんなどの未燃分が発生し、またダイオキシンなどの化学物質が合成されやすくなります。さらに、焼却に伴う悪臭やばいじんが周囲に拡散します。
- ▼ 野焼きをしないことで、こうした公害や健康被害を回避することができます。

## 7. 農業における配慮

### [1] 環境配慮型農業推進プログラム

#### ～農業でまちを変えよう！～

農業における環境配慮の取り組みとして、「大気汚染防止の工夫」、「化学物質使用への配慮」、「生物への配慮」、「持続的農業への配慮」の4つを取り上げます。

## 化学物質使用への配慮

### (2) 農薬

＜安全＞

農薬はなるべく使わない

#### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農薬の過剰な使用は、人の健康や地域の生態系に影響を与える可能性があります。
- ▼ 地域に住む人々の将来の健康も考え、なるべく農薬を使わないようにします。

#### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 農作業する人の、健康被害のリスクを低減することができます。
- ▼ 農薬による生態系への影響を低減することができます。
- ▼ 「無農薬」や「減農薬」として、農作物に対する消費者の安心感や、農作物の付加価値を高めることができます。

## 化学物質使用への配慮

### (3) 有機農業

＜安全＞

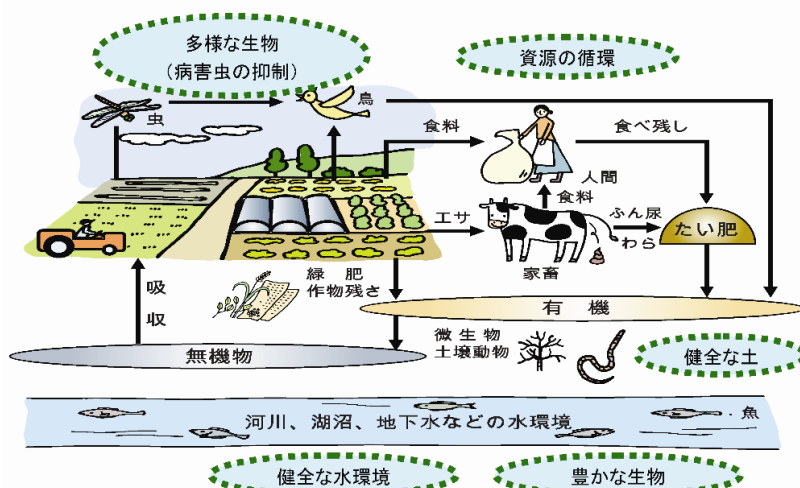
有機農業を進める

#### ＜取組みの内容＞

- ▼ 化学肥料の大量使用による河川・海洋の富栄養化や地下水汚染などを防ぐため、化学肥料の過剰な利用を避けます。
- ▼ 有機農業にチャレンジすることで、地域の物質循環の形成に寄与できます。

#### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 農地への有機肥料の投入により、作物を生育させることのできる土地の能力である「地力」を高めることができます。また、地力を維持することで、収量を安定化させることができます。
- ▼ 「有機農産物」として、農作物に対する消費者の安心感や、農作物の付加価値を高めることができます。



※有機農業による環境と調和の取れた農業生産

▲出典 農林水産省パンフレット「有機農業を推進しましょう」

## 生物への配慮

### (4) ビオトープ

＜緑・生物・景観・産業・都市空間＞

#### 生物のすみかを確保する

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農地は、いろいろな生物のすみかでもあります。そこで、農薬の使用を減らすことで、農地にビオトープ(生物生育空間)としての機能も持たせます。

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 多種の生物が生息できる環境を維持することで、地域における生物多様性に貢献できます。
- ▼ たくさんの種類の生物が生息する環境のほか、自然と触れ合える機会を市民等に提供することができます。



## 持続的農業への配慮

### (5) 農業の継続

＜緑・生物・景観・産業・都市空間＞

#### 農業を続ける

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農地は、大和市に残されたオープンスペースとして、市民等への安らぎの提供や災害時における避難空間など数々の役割を担っています。将来にわたり農業を続けることが、こうした多様な機能を維持することにつながります。

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 安全・安心な地産地消が維持できます。
- ▼ ビオトープや景観を楽しめる場所としても農地が維持できます。

##### ＜大和市市民農園＞

大和市では、市内各地に市民農園を開設し、毎年2月に利用を希望する市民を募っています。緑と土に親しみながら野菜や草花の栽培など自らの農業体験を通じて、都市農業への関心と理解を深めていただくとともに、市民相互の「ふれあい」の場とすることが目的です。